



イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、その使命を果たす企業集団として永続するために、お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

「イオンの基本理念」の全文についてはこちらをご覧ください

<https://www.aeon.info/company/concept/>



イオングループ未来ビジョン

一人ひとりの笑顔が咲く 未来の暮らしを創造する

イオングループが実現したい未来は、
お客さまが「明るくなっていく社会」と「自分らしい幸せ」を実感できることで
「心豊かに暮らし、笑顔が広がる」未来です。

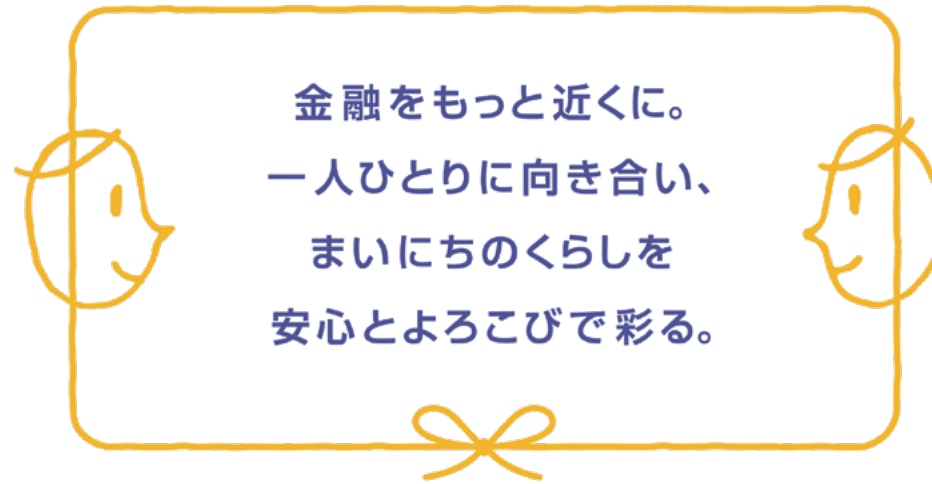
イオングループのありたい姿は、暮らしの共創をリードし、
一人ひとりも社会全体もより豊かにするグループです。

「イオングループ未来ビジョン」の全文についてはこちらをご覧ください

https://www.aeon.info/company/code_of_conduct/



Our Purpose



金融をもっと近くに。
一人ひとりに向き合い、
まいにちの暮らしを
安心とよろこびで彩る。

パーパスの詳細 ▶

P.14

金融をもっと近くに。



私たちは、イオングループの総合金融事業として便利でわかりやすい「生活者視点」を活かした金融サービスを提供します。また、全世代に対し金融教育を進めるほか、多様な資金ニーズに応える金融包摂を通じ、金融の仕組みそのものをもっと身近にします。

一人ひとりに向き合い、



私たちは、生活者一人ひとりに真摯に向き合い、ライフステージや生活環境の変化に対応した金融サービスを提供しています。また、加盟店や地方自治体など地域社会のさまざまなビジネスパートナーとの協働により新しい価値を創造しています。お客さまの立場に立って行動することが私たちの大切な価値観です。

まいにちの暮らしを安心とよろこびで彩る。



私たちは、毎日の生活を支える金融機関として、お客さまの生活の豊かさや、幸せに貢献しています。そして、私たちはともに働く仲間の多様性を尊重し、自由闊達に誇りを持って働くことができる環境や企業風土を大切にしています。これらを通じて、毎日の暮らしが「安心」と「よろこび」で満たされ、心が高揚感やワクワク感で彩られることこそ私たちの提供価値です。



目次に戻ります



直前に閲覧していたページに戻ります



前のページに戻ります



次のページに進みます

目次

イオンの基本理念、イオングループ未来ビジョン 1

Our Purpose 2

目次・編集方針 3

WHAT/WHO 5

いったい何をやる会社なのか

イオングループの総合金融事業 6

価値創造の軌跡 7

At a glance 9

価値創造プロセス 11

WHY 13

なぜそれをやるのか、やれるのか

Purposeの実現に向けて 14

トップメッセージ 15

独自性・強み 19

海外上場子会社 代表者メッセージ 22

HOW 25

どのようにそれをやるのか

中期経営計画 26

財務経理担当メッセージ 30

ビジネス人材 33

イオンフィナンシャルサービスのサステナビリティ 35

マテリアリティ① 革新的な金融サービスを通じた幸せの追求 37

マテリアリティ② 人材の多様性と可能性の発揮 42

マテリアリティ③ レジリエントな経営基盤の確立 52

マテリアリティ④ 気候変動等への対応 69

DATA 75

データ集・会社概要

財務ハイライト 76

非財務ハイライト 77

11ヵ年サマリー 78

会社概要 79

関係会社の状況 80

株式に関する情報 81

統合報告書2025の発行にあたって・編集後記 82



トップメッセージ 15



財務経理担当メッセージ 30



Our Purpose従業員座談会 43



社外取締役インタビュー 52



編集方針



WEBサイトのご案内 <https://www.aeonfinancial.co.jp>

報告対象範囲

組織：イオンフィナンシャルサービス株式会社および連結子会社
 期間：2024年度（2024年3月1日～2025年2月28日）※一部対象期間外の情報も掲載しています。

将来見通しに関する注記

本統合報告書に記載されている、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測などに関わるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報にもとづいて想定・算出したものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などに関わるリスクをはじめとするさまざまな不確定要素を含んでいます。したがって、将来、実際に公表される業績などはこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

イオンフィナンシャルサービス 統合報告書 編集方針

当社では、投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに、当社の持続的な価値創造に向けた取り組みをご理解いただくため、2017年より統合報告書を作成しています。編集にあたっては、IFRS財団が推奨する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス2.0」を参照しています。報告書では、当社グループの存在意義である「Our Purpose」を起点に、国内外で展開する決済、融資、銀行などの金融サービスを通じて、地域社会やお客さまの生活にどのような価値を提供しているかを示すとともに、サステナビリティ、DX、人的資本の強化など、持続的な成長に向けた取り組みを体系的に紹介しています。より詳細な内容については、情報開示体系に記載しております、当社ウェブサイトの各種情報開示資料をご参照ください。

統合報告書2025のポイント

当社を中長期的な視点で評価いただく投資家の皆さまに、当社グループの価値創造ストーリーをわかりやすくお伝えすることを目的に構成しています。統合報告書2025では、投資家の皆さまとの対話の中でいただいたご意見より、当社グループの企業価値の源泉である資本や、当社の独自性、強みとそれらを支えるサステナビリティの取り組み、今後の成長に向けた方針を、よりストーリー性やリアリティをもってお伝えすることをコンセプトに作成いたしました。

- 「WHAT/WHO: いったい何をやる会社なのか」
- 「WHY: なぜそれをやるのか、やれるのか」
- 「HOW: どのようにそれをやるのか」

という3つの問いを軸に、当社グループの価値創造の軌跡と独自の強み、そして「ありたい姿」の実現への取り組みをお伝えしています。また、皆さまからの関心が高い点については、価値創造に向けた取り組みとともに紹介しております。

- ▶ **海外上場3社の紹介 (P.22-24)** 独自性、強みでもある海外展開を、各社の軌跡とともに紹介
- ▶ **ビジネス人材の紹介 (P.33-34)** 注力分野であるデジタルを活用したサービス展開に貢献した人材を紹介
- ▶ **Our Purpose従業員座談会 (P.43-44)** 「パーパス経営の深化に向けて」をテーマとした座談会
- ▶ **社外取締役インタビュー (P.52-54)** 金融グループとしてのコーポレート・ガバナンスの進展

現場の声を通し、よりリアルな視点で当社の強みや可能性をお伝えします。